

黒埼町の今昔

町民さん

板井の柔道 (一)

昭和初め、味方村吉江の高念寺住職・広川智恩師のきもいりで、板井に柔道、興る。

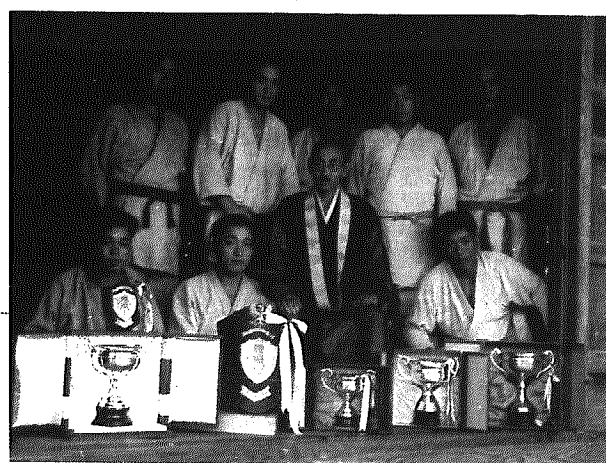
四年前、この『黒埼町の今昔』で木場の柔道部について紹介した。戦前から戦後にかけて市内の各地に柔道のグループがあった。それぞれ活動していた。特に板井は市内でも早くから柔道が行われていた。板井柔道の始まりとそこで活躍した人たちに、ここに記しておきたい。

板井小生徒、柔道大会へ出る
昭和十年の春、味方村吉江の高念寺の住職で、柔道家として近隣に知られた広川智恩師(当時四十歳前半で柔道五段)が板井小学校を訪れた。数日後に新潟師範学校で開かれる県下小学校柔道大会に板井小の生徒をせび出場させてほしい、ということだった。

時局柄、格闘技と武道に関心をもちた真柄校長は、智恩師の熱心な勧めを受け、生徒を出場させることにした。

団体戦は一チーム五人ということで、六年生から体格のよかった高橋半一郎、藤由五三郎、田辺十四郎、田辺寛吉、渡辺政吉が選ばれた。

それから数日間、智恩師は板井小に通って選手たちに柔道の手ほどきをした。三、四日の稽古だから、ケガをしな



写真上/昭和23、4年ごろ、味方村吉江の高念寺本堂で。中央の袈裟を着た人が、板井柔道の発展に力を尽くした高念寺住職の故・広川智恩師。上段左から二人目が智恩師の息子の広川彰恩・現住職。上段右端が、高橋半一郎さん。写真下/現在の高橋半一郎さん(自宅で)。

いための受け身を教えるのが精一杯だった。また、柔道着も大人の古い柔道着を智恩師が持ってきて着せたが、ダブダブでもとやりにくかったそうである。

さて、板井小の選手たちの出場した大会であるが、尋常科での出場は全部で約十校で、西蒲からは板井小と七穂小、吉江高念寺の三チームだけだった。

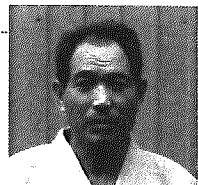
試合の結果、ほとんど稽古をしていない板井小は予想通り団体戦で最下位だったが、藤由五三郎が個人戦で三位に入賞した。

柔道指導者・智恩師の略歴
板井柔道の発展に大きな影響を与えた、味方村吉江の高念寺住職・広川智恩師の略歴をここに記しておこう。

明治末ころ、大谷大学在学中に柔道四段取得
大正四年 大谷大学卒業
大正五年 東本願寺鹿兒島別院入寺。かたわら鹿兒島県警柔道師範ならびに鹿兒島二中(現甲南高校)柔道教師を勤める。

大正十五年 鹿兒島から吉江高念寺に帰る(柔道五段)
以来、寺の本堂を道場にして西蒲、中蒲の若者たちに柔道を教え、普及に努める。

板井柔道の始まり
黒埼柔道の草分け、板井柔道の始まりは昭和三年ごろで、広川智恩師のきもいりによると言われている。この時、板井で柔道を始めたのは、丸山秀雄、萩野寛心、池兼茂、小林与七ら当時十五、六歳の若者たち七、八人だった。稽古場所は板井小の運動場だった。当時は福浄寺の上手、岡田床店の前にあり、二階が教室で階下が運動場だった。そして稽古は農閑期の主として夜だった。



彼らの指導にあたった智恩師は、柔道の主として夜だった。

の基本姿勢から徹底的に教えた。特に組み手は襟とひじのあたりをとり、姿勢はあくまで自然体で、今の柔道のように、技をかけられまいと前かがみになったり、柔道着を持つ位置が違ったりすると厳しく叱られたという。

また彼らを励ますため、一級から四級くらいまで、〇級だれだれと名札を作り、実力に応じた級を与え、運動場の腰板に下げて競争心を起こさせた。特に抜きん出ているのは、前記の丸山四人で、間もなく一級に進級した。段こそとらなかつたが、この人たちが板井柔道を起こしたといえる。

昭和八年、大野小学校で開かれた黒埼村青年競技大会。柔道の部に板井からも出場したが、小林与七が個人優勝を果たしている。しかし、萩野池兼、小林らは昇段する機会もないまま、次々と兵役のため入隊した。

板井柔道二代目の人たち
昭和十年ころは、丸山秀雄を中心に永井義輝、大久保清、坂井友蔵、永井彦一郎、高橋仁治郎らが稽古していた。翌十一年には笠原治太郎、永井幸雄が加わり、十二年、板井小学校が現在の地に新校舎ができる、稽古場はその運動場に移った。

当時、黒埼の柔道有段者は柏公二(二段・木場)を筆頭に谷井正人・初段(大野)更科大吉・初段(大野)丸山久蔵・初段(板井)山田要平・初段(板井)石橋善作・二段(立仏)浅妻力・初段(大野)の七人くらいしかいなかった。このうち四人が学生柔道の出身だった。

昭和十四年ころ、永井義輝が初段となる。このころから県下に柔道が普及し、大会も新潟だけでなく白根地方でも開かれるようになった。

二代目部員の活躍
このころ、板井では高橋仁治郎を筆頭に高橋半一郎、笠原治太郎、永井幸雄、田辺善六らがめきめきと力をつけ、昭和十五年三月の二市二郡大会(二市二郡とは新潟、三条、西蒲、中蒲のこと)が板井小学校で開かれたとき、無段者の部に出場した板井チームは団体戦で二位か三位だったが、高橋仁治郎が個人優勝を果たした。

十六年四月の昇段試合で、高橋仁治郎、笠原治太郎、高橋半一郎の三人が初段になった。さらに、高橋半一郎は同年十二月に二段となった。

執筆・宮田栄門 取材協力・高橋半一郎、高橋仁治郎、萩野寛心(以上板井) 広川彰恩(味方村高念寺) ※敬称略

日本損害保険協会から

救助工作車の寄贈を受ける

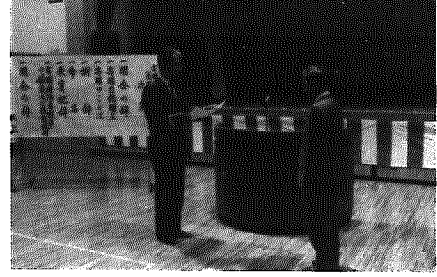
八月二十八日(火)、社団法人日本損害保険協会から町消防署へ救助工作車一台(約三十三万円相当)が寄贈されました。

この救助工作車は、消防用の車体に重量物排除器具、切断用器具、空気呼吸器など、救助活動に必要な装置が取り付けられており、災害・事故現場での救助活動での活躍が期待されています。

この救助工作車の贈呈式が同日、農村環境改善センターで行われ、損害保険協会関係者、町消防署員のほか、町長、町議会議長、武田県議会議員らが出席しました。



上/寄贈された救助工作車。下/贈呈式で目録を受ける町長。



(消防署)

また、この救助工作車は「火災保険号くろさき」と命名されました。

式のと、総合体育館前で放水訓練が行われました。

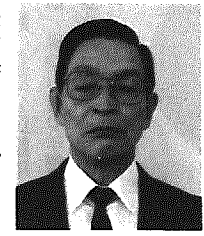
なお、町が損害保険協会から消防車両の寄贈を受けたのは、昭和五十五年について二台目となります。

短 信

- 8月15日 ~ 9月15日
- ▶8月15日 成人式(改善センター)▶19日 全町PTA研修会(改善センター、町長出席)▶22日 新潟国道工事事務所30周年記念式典(新潟市、町長出席)▶24日 内外情勢調査会(新潟市、町長出席)▶9月1日 郡町村職員運動会(岩室村)▶4日 9月定例課長会議▶7日 町商工会との打ち合わせ(町長室)内外情勢調査会(新潟市、町長出席)黒埼まつり反省会▶10日 黒埼特産館に係る関係者会議(町長室)▶11日 議会9月定例会(21日まで、12日総務文教委員会、13日産業建設委員会、14日観光物産センター特別委員会、17日厚生企業委員会、18日一般会計予算審査特別委員会、19日一般質問)▶12日 課長会議、国勢調査調査員説明会(14日まで、役場分館2会議室、企画開発課)▶13日 新潟都市圏パーソナル調査委員会(新潟市)

新しい人権の守り手に森山さん

9月15日付で人権擁護委員に



森山 政治さん

人権の守り手・人権擁護委員に、森山政治さん(鳥原・六十四歳・三三七七五二二二)が、九月十五日付けで新たに選任されました。

人権擁護委員は昨年十二月から一人増え、四人になりましたが、今年四月に人権擁護委員だった赤沼政正さんが死去されたことに伴い、一人欠員となっていたもの。

なお、森山さん以外の本町の人権擁護委員は、本多敏磨さん(金巻・三三七七二一九一)笠原文雄さん(木場・三三七七三四四七)弦巻長吉さん(寺地南団地・三三七七一七二九二)の三人です。

人権擁護委員は、皆さんの人権を守るため、うわさ・差別・いやがらせなどの相談に応じます。森山さんをはじめ他の三人のどなたに相談してもかまいません。相談は無料で秘密は固く守られます。

(総務課)

皆さまの動きをさます。町政のな動きをさます。

工 事 名	工 事 業 者	請 負 額	完 成 期 限	入 札 日
町道山田22・23号線改良工事	(株) 新潟 廣 瀬 組	28,325 千円	平成3年 1月21日	7月31日
町道仲町新田町線樋管改修工事	(株) 笠 井 組	1,133	平成2年10月 6日	8月 3日
鳥原排水路維持工事	(株) 笠 井 組	1,545	9月26日	8月 3日
大野小学校保育所線大明1号幹線しゅんせつ工事	新潟 特殊 企業 (株)	1,339	9月16日	8月 3日
山田1号幹線しゅんせつ工事	(株) 笹 川 組	1,081.5	9月16日	8月 3日
山田排水路改修工事	(株) 笹 川 組	1,493.5	10月 1日	8月 3日
町道木場野球場前線測量設計委託	(株) 新潟 測量 設計 社	721	10月11日	8月 3日
町道緒立亀線測量設計委託	(株) ナルサワ コンサルタント	1,545	10月21日	8月 3日
町道山田立仏4号線測量設計委託	(株) 小 柳 測 量 開 発	1,442	10月21日	8月 3日
町道金巻10号線橋設計委託	日 伸 技 術 (株)	824	9月 1日	8月 3日
交通公園舗装撤去工事	(株) 樋 口 組	1,854	10月21日	8月23日
大野町裏線側溝改修工事	(株) 笠 井 組	4,686.5	12月 5日	8月23日
黒崎町老人福祉センター(ふれ合いの家) ひき家工事	(株) 山 際 総 合 建 設	6,128.5	11月 6日	8月24日
町道山田23号線道路改良工事	(株) 赤 川 組	18,540	平成3年 1月29日	8月28日

入札結果

総務課